

皆既月食を見よう

7月16日(日)の夜半前、日本全国で皆既月食が見られます。月食が見られるのは昨年7月28日の部分月食に続き約1年ぶりですが、昨年は富山では曇り、見るできませんでした。ぜひ、この機会に夜空の神秘をご覧ください。

月食とは

月食は太陽でできる地球の影に月が入り、月が暗くなる現象です。月が地球の影に完全に入ってしまう月食を皆既月食、月の一部が見えなくなるものを部分月食といいます。月食は下の図にあるように、満月の時に起こります。

皆既月食の時には月が完全に見えなくなるのではなく、輝きを失った赤銅色の月が見えます。影の中心に近い部分は暗さがましますが、影の中心から遠いところは明るくなり、三日月のようにみえます。これは地球の空気により太陽の光が屈折されて、太陽の光が地球の影に入り込むからです。ただ、1982年の月食は皆既月食の時に月がほとんど見えませんでした。これはメキシコのエルチチョン火山の大噴火があり、地球の空気の高い部分まで火山灰で汚されたた

めに、太陽の光が地球の影に入り込めなかったからです。今回はどうでしょうか。

なお、日本で見るここのできる次の月食は2001年1月10日の未明に起こる皆既月食です。



月食はなぜ起きるか

皆既月食の美しさ

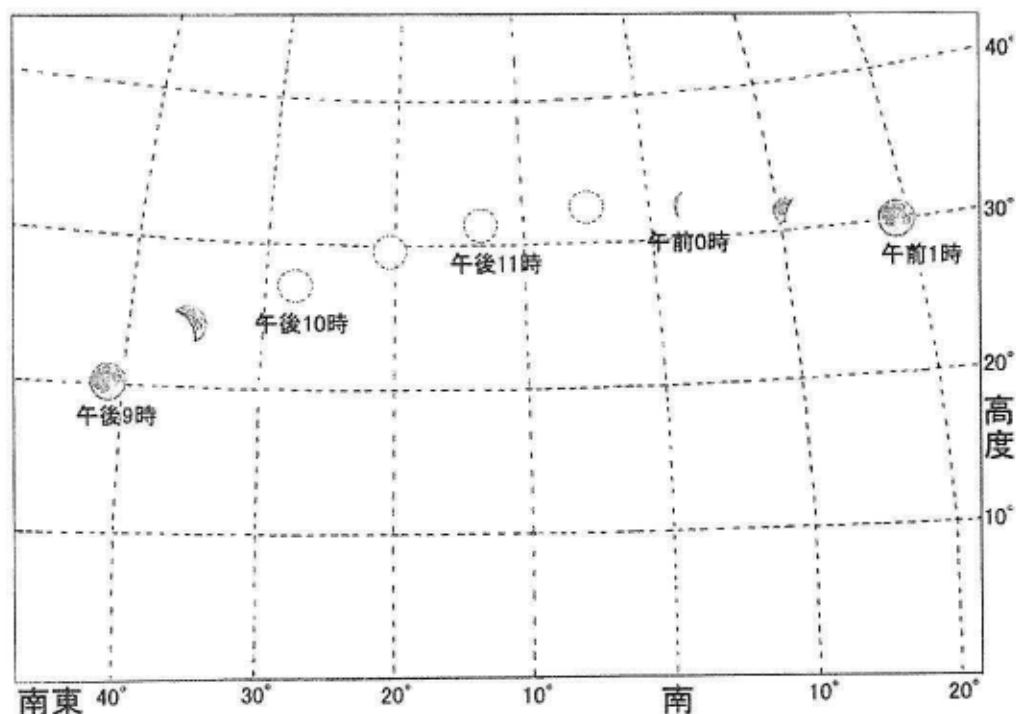
月食の時に高い倍率の望遠鏡を使用しても、クレーターはよく見えませんし、影の境界もはっきりしません。むしろ、双眼鏡や20~30倍程度の倍率の望遠鏡で観察し、皆既月食の月の色や形の変化を楽しんでください。地球

の影の進行に伴い、月の色が微妙に変化する様子をじっくりと観察して見てください。

また、月食の進行に伴う星空の変化には目を見張るものがあります。月食が始まった頃にはほとんど星が見えないのに、月食が進行すると、満天の星空になります。その変わりゆく姿には感動させられます。月明かりが空全体を明るくしている様子がよくわかります。

今回の月食を見るには

今回の月食の始まりは午後8時57分、皆既月食の始まりは午後10時2分、皆既月食の終了は午後11時49分、月食の終わりは深夜の午前0時54分です。見える方向、高さは以下の通りです。肉眼でも見るができます。



この月食は富山市天文台でも観測会を行います。7月16日午後8時50分から始まり、最初は欠け始める月を観察し、その後、月食にまつわる話などを紹介し、最後に皆既月食が始まる様子を観察し、午後10時15分には終了します。ぜひ、富山市天文台にもお越しください。(渡辺 誠)



富山市科学文化センター

〒939-8084 富山市西中野町 1-8-31 Tel 076-491-2123
富山市天文台 〒930-0155 富山市三熊 49-4 Tel 076-434-9098
ホームページ www.tsm.toyasma.toyama.jp

平成12年7月1日発行